

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（女川原子力発電所 保安規定）【13】
2. 日時：令和4年11月9日 13時30分～16時20分
3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

皆川管理官補佐、義崎上席安全審査官、宮本主任安全審査官、秋本安全審査官、岩崎安全審査官、小野安全審査官

実用炉監視部門

志賀上級原子炉解析専門官、浅野上席監視指導官

事業者：

東北電力株式会社

原子力本部 原子力部 副部長 他10名

原子力本部 原子力部 課長 他15名*

東京電力ホールディングス株式会社

原子力運営管理部 保安管理グループ グループマネージャー 他3名*

中部電力株式会社

原子力部 総括・品質保証グループ 専任副長 他1名*

北陸電力株式会社

原子力部 原子力発電運営チーム 統括 他2名*

中国電力株式会社

電源事業本部 原子力運営グループ マネージャー 他4名*

日本原子力発電株式会社

東海第二発電所 部長 他2名*

電源開発株式会社

原子力技術部 原子力計画室（建設管理） 課長代理 他1名*

北海道電力株式会社

原子力事業統括部 原子力運営グループ 副主幹*

5. 要旨

(1) 東北電力株式会社から、女川原子力発電所原子炉施設保安規定変更認可申請書の内容について、令和4年7月20日、11月2日及び11月9日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【原子炉施設保安規定変更に係る説明資料（17条、添付1-2、1-3 先行BWR プ

ラントとの比較表)】

- 内部溢水に係る手順書の整備について、溢水源としての蒸気漏えいの想定において、加熱蒸気系を想定破損除外としている根拠を整理し、説明すること。
- 内部溢水に係る手順書の整備について、B、Cクラス機器運用管理の適用期間を整理して説明すること。
- 津波に係る手順書の整備について、カーテンウォール内のゴムポートによる運用について、適用期間を整理して説明すること。

(3) 東北電力株式会社から、本日説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

なお、本ヒアリングについては、事業者から一部対面での開催の希望があったため、「まん延防止等重点措置の解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」(令和4年3月23日 第73回原子力規制委員会 配布資料2)を踏まえ、一部対面で実施した。

6. その他

提出資料：

- ・ 東北電力女川原子力発電所新規規制基準保安規定審査スケジュール (案)
- ・ 女川2号保安規定 指摘事項に対する回答整理表
- ・ 女川原子力発電所2号炉 原子炉施設保安規定変更に係る説明資料 (17条、添付1-2、1-3 先行BWRプラントとの比較表)
- ・ 女川原子力発電所2号炉 原子炉施設保安規定変更に係る説明資料 (既存条文 先行BWRプラントとの比較表)【117条、118条抜粋】
- ・ 女川2号炉 特定重大事故等対処施設設置に係る原子炉設置変更許可申請による新規規制基準に係る原子炉施設保安規定審査への影響について
- ・ 女川原子力発電所2号炉 原子炉施設保安規定に係る説明資料 (教育訓練について)
- ・ 女川原子力発電所2号炉 火災発生時、内部溢水発生時、火山影響等発生時、その他自然災害発生時及び有毒ガス発生時の体制の整備について
- ・ 女川原子力発電所2号炉 原子力防災体制の運用強化について
- ・ 女川原子力発電所2号炉 格納容器内の火災防護について
- ・ 女川原子力発電所2号炉 高濃度火山灰対応について
- ・ 女川原子力発電所2号炉 地下水位低下設備に関するLC0等について